

ふくしまからありがとう

# 福興しター

ふくしまからはじめよう。

## 「今日の努力は 笑顔あふれる農空間 復興のために」

謹んで新春の御挨拶を申し上げます。あと1か月ほどで東日本大震災から5年が過ぎようとしています。現在まで査定を受けた2,300箇所のうち約7割が完了し、災害復旧と一体的に実施している大区画ほ場整備11地区も鋭意工事中で、一部では営農再開も始まったところです。復興が形として見えることで将来に明るい光が差し始めていますと実感しております。これもひとえに、遠くふるさとを離れ福島県の復興に誠心誠意取り組んでいただいた方々と、職員を快く派遣していただいている派遣元の皆様のお蔭と心から感謝しております。

本県農業は原発事故以降、風評による農産物価格の低迷や取引量の減少など厳しい環境にあります。原発避難区域を含めた被災地域の農業再生に向け、農地・農業用施設の一日も早い復旧が私たちに課せられた責務であると考えております。今後想定される国内外競争のスタートラインに就かせていただくためにも、引き続き変わらぬ御支援をお願い申し上げます。



福島県農村振興技術連盟委員長 須田 博行  
(福島県農林水産部次長(農村整備担当))

## 福耕支援隊の皆さ～ん、全員集合！！



# 福耕支援隊 青森県チームにインタビュー

おがさわらやすお  
小笠原康雄さんの答え

Q1: 現地を来て見た感想・印象はいかがでしたか？

私は平成24年度(2か月)、平成26年度(6か月)に続き3回目です。平成24年度は、震災の爪痕が、まだ、いたるところに残っていましたが、今回来てみて、次第に復興は進んでいると実感することができました。

ただ、原発に近い市町村では、いまだに避難を強いられている状況で、これから仕事はまだ残っていると思います。



小笠原さん 田中さん

Q2: 福島県で生活してみて、どのように感じましたか？

仕事は忙しいですが、普段の生活はとても快適です。

職場の皆さんにもよくしていただいております。充実した日々を過ごしています。全国から同じ志を持った技術者が集結しており、刺激を受けながら、多くの仲間ができたことが、私の人生にとって大きな財産となりました。

冬場は天気の良い日が多く、出勤時に玄関を開けた時、春を感じてしまうこともあります。

Q3: 最後にメッセージをお願いします。

復興は進んできているとは思いますが、やらなければならないことはまだまだあります。全国の農業土木技術者の皆さん(特に若手)、福耕支援隊への仲間入りをお待ちしています。

たなかしげつか  
田中成司さんの答え

今回の派遣は、再度あの地がどうなったかを自分の目で確かめたい思いで来ました。復旧・復興は着実に進んで来てはいるが…。しかし、特に20km圏内の未だ震災の爪痕が色濃く残っている風景を目にする度に、未だ道半ばの感を強く受けました。

嬉しい事も、多くあります。少しずつですが、子供達が遊んでいる風景を目にする機会が増えた事です。

この子供達に少しでも元の故郷を返してあげたい。その為に、少しでも基礎を作っておかないと、と云う思いが湧きます。震災復興は、何と云っても子供達の将来に負わざるを得ない、長いスパンを要するからです。

仕事面では、慣れない仕事に戸惑いもありますが、プロパー職員のバックアップもあり、何とか仕事らしきものを熟せている、と云う感があります。また、職場の特徴である全国から派遣されて来ている職員から、色々な情報や刺激を受け、今後の仕事へフィードバックできるのではないかと感じています。

私生活面では、放射能どこ吹く風で、福島県はいたる所に歴史・文化に根ざしたイベントが思いのほか多く、週末は観光がてら趣味の写真を撮り歩く日々を楽しんでいます。

全国の農業土木の皆さま～。

福島に一度来てくださ～い。

## 青森県チームのプライベートショット



島副知事と打立そばと北海道産毛ガニを堪能する会 (2015. 12. 19)



全国の仲間と筑波山登山 (2015. 11. 28)



南相馬市の北泉海岸は、サーフィンの隠れ聖地。サーフィンのシーズンは、何と冬なんです。波が整うオフショアの風、最高です！また、背後に火力発電所などの建造物がある場所は、ここだけでしょう。

(2015. 10. 17 田中さん撮影)



相馬野馬追祭での甲冑競馬の様子です。騎馬の迫力が、なんたってスゴイ！

(2015. 7. 26 田中さん撮影)



木幡の幡祭り。日本三大幡祭りの一つ。歴史は源平時代に遡り、千年以上の歴史が有るとか。(2015. 12. 6 田中さん撮影)

## 「農地等の復旧・復興に向けて」檜葉町

檜葉町では、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災及び原子力災害の複合災害の復旧のため、東海農政局より平成 24 年 9 月から、また関東農政局より平成 27 年 4 月から、支援職員を派遣いただいております。支援職員のご協力をいただきながら農地や農業用施設の復旧を進めております。

現在は、除染に伴う仮置き場を除いた水田等の復旧状況が少しずつ目に見える形となってきており、震災前の原風景に一步一步、近づいていると感じております。

復旧・復興に向けての道のりは厳しいですが、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後も檜葉町への応援をよろしくお願いいたします。

そして、これまで檜葉町へ派遣いただいた皆様にご心より感謝申し上げます。

檜葉町 産業振興課長 矢内 吉友



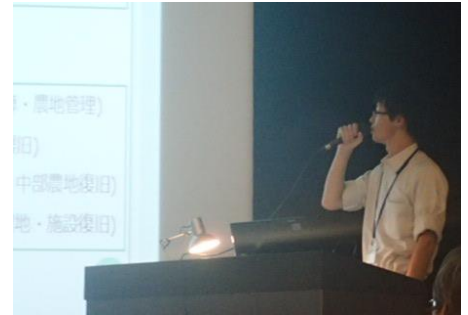
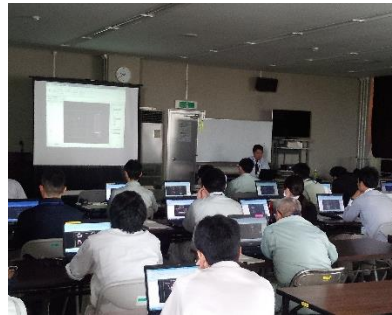
清水さん  
(東海局)

濱田さん  
(東海局)

## 週中も週末も充実してますよ。



派遣職員のための基礎研修や CAD 研修を組んでいます。



業務の成果を発表して頂きました。



後ろに見えるのが安達太良山の火口です。



背後に見えるのが磐梯山の山頂です。



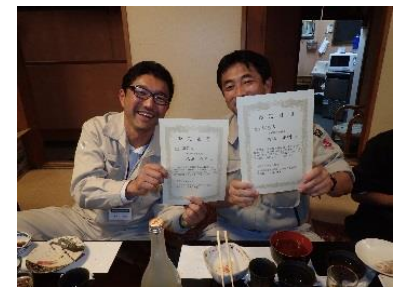
エビスママチャリ 4 時間耐久レースに参加しました (二本松市)。



沖縄のマンゴーを頂きました。



相双農林事務所名物そば道場。認定書も交付されます。



# 福島県 福耕支援隊

あの東日本大震災発生から、今年の3月で5年が経過しようとしています。

相双農林事務所農村整備部では、県外からの派遣職員による応援をいただきながら、県営事業による海岸保全施設や排水機場、ため池などの復旧工事や、大区画ほ場整備と一体となった津波被災農地の復旧工事を進めるとともに、団体営災害復旧事業に関する市町村の指導・支援などを行ってきました。

平成27年12月までに、県営と団体営を含めて1,117箇所 の災害査定を受け、その約60%に当たる644箇所において復旧工事に着手し、401箇所(36%)が完了しました。農地・農業用施設等の復旧が進んだ地域では徐々に営農が再開され、活気が戻りつつあります。

これまで当事務所において復旧事業等に力を尽くしてくださいました皆様に対して、深く感謝申し上げます。

一方、原子力発電所事故に伴う避難指示等の指定区域を抱えた市町村にあっては、未だに復旧・復興の見通しがたっていない地域もあります。

当管内12市町村の復興と再生を進めるため、営農再開への必須条件となる農業生産基盤の着実な復旧に向けて、引き続き全国の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

管内	派遣先	人数(名)	派遣元
相双	相双農林事務所(県)	22	11道県 北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄
	相馬市	5	農林水産省 1局 3市 関東農政局、新潟県新発田市、福井県大野市、岡山県総社市
	南相馬市	9	農林水産省 3局 1県、1市 北海道開発局、中国四国農政局、神奈川県、群馬県桐生市
	広野町	3	農林水産省 2局 近畿農政局、北陸農政局
	楡葉町	3	農林水産省 2局 関東農政局、東海農政局
	浪江町	1	農林水産省 2局 北陸農政局、沖縄総合事務局
	新地町	4	農林水産省 2局 1市 北海道開発局、北陸農政局、長崎県諫早市
計	47		農林水産省 7局、12道県、5市

《県内の災害復旧事業の執行状況》

平成27年12月末時点 (単位:百万円)

区分	工種	全体		発注済		完了			
		箇所数	事業費	箇所	進捗率	事業費	進捗率		
県営	海岸保全施設	30	27,775	29	96.7%	22,587	6	20.0%	11,809
	施設(機場、ダム・ため池)	64	21,089	60	93.8%	19,561	47	73.4%	14,294
	農地(区画整理)	114	19,127	37	32.5%	949	0	0.0%	124
	施設(区画整理)	140	3,263	6	4.3%	102	0	0.0%	31
	小計①	348	71,254	132	37.9%	43,199	53	15.2%	26,258
団体営	施設(ため池、水路等)	1,205	10,204	1,039	86.2%	7,447	949	78.8%	6,632
	農地	594	18,299	505	85.0%	5,190	434	73.1%	2,505
	災害関連(農集排、公園)	124	7,704	122	98.4%	7,332	117	94.4%	7,236
	小計②	1,923	36,207	1,666	86.6%	19,969	1,500	78.0%	16,373
	合計(①+②)	2,271	107,461	1,798	79.2%	63,168	1,553	68.4%	42,631

相双農林事務所 農村整備部長 大久保 進一

## 福島 復旧・復興の足跡



相馬排水機場 (相馬市)



中浜田樋門 (新地町)



南右田第二地区 (南相馬市)

福島の『今』をお伝えする「ふくしまファンクラブ」メール会員を募集中です!!

詳しくは、<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32031a/f-fanclub.html> をご覧ください。

「福興レター」は、全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からいただいた義援金により作成しております。多大なるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

発行元：福島県農村振興技術連盟 (編集 福島県農村計画課)

電話：024-521-7403 FAX：024-521-7545